

知識を融合 新たな価値を創造

「インテリクチャル・カフェ国際シンポジウム2008—知識の融合から新たな価値の創造—」(主催・経済産業省、経済協力開発機構＝OECD、日本経済新聞社)が、11月20、21日の2日間開催された。わが国において、異分野間の知識や技術の融合により新たな価値の創造(イノベーション)につなげる活動が求められている。シンポジウムでは、知的交流を深める契機となる「インテリクチャル・カフェ」をテーマに、活発な議論が展開された。

開会 あいさつ

経済産業省
経済産業大臣政務官
谷合 正明氏



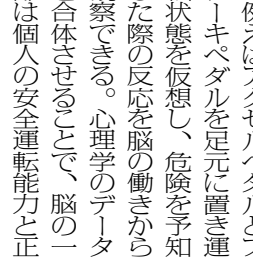
金融危機が実体経済に波及し、わが国の経済は、厳しい状況に直面している。加えて資源制約への懸念、少子高齢化の進行など、構造的な課題も抱えている。直面するピンチをチャンスに変え、新たな成長への道を切り開かなければならない。

業種を超えた戦略を

経済産業省は、今夏「新経済成長戦略(2008改訂版)」を策定した。成長を促進する新たな成長を実現するための強化策、加えて、中核産業や組織の壁、国境を乗り越えて異分野の知識を融合させ、日本の技術力・知能を生かして、大きなイノベーションの創出が不可欠である。

基調講演

脳科学から新産業を創生する
東北大学加齢医学研究所教授 川島 隆太氏



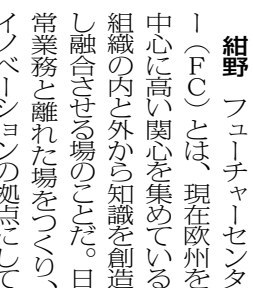
東北大学では現在、脳の基礎研究の応用を目指し、産学連携での研究開発を進めている。人間の脳は、その場所によって働きが異なる。脳計測に使用する磁気共鳴画像装置(MRI)は、人間の脳を写し取り、被験者に画像を見せたり音を聞かせたり物を触れさせたりする。

重要性増す脳情報の活用

情報抽出すること、ものごとやシステム構築などに活用することが可能になっていく。実際にこれまで得られた脳情報は、いかに応用されたのか。主な例を説明し、

パネルディスカッション

イノベーションを育む場「フューチャーセンター」の可能性



フューチャーセンター(FCC)とは、現在欧州を中心に高い関心を集めている組織の内から知識を創造し融合させる場のこと。日



Edvinson 氏
三栖 氏

●パネリスト
●モデレーター

脳の力を解放、活性化へ 見方の発想転換必要に 「知的にぎわい」が鍵



Edvinson 氏
三栖 氏

「知的にぎわい」が鍵
Edvinson 氏
三栖 氏

キーノートスピーチ

キーノートスピーチ
Edvinson 氏
三栖 氏

製品戦略を差別化へ 国際化など特徴持つ



Zettwitz 氏
Shieh 氏

製品戦略を差別化へ
国際化など特徴持つ

ポリシーラウンドテーブル

政府は公的支援や税制面で企業をサポートすることで、問題が解決できると見込んでいる。

●パネリスト
OECD 事務局科学技術政策課長 谷合 正明氏
OECD イノベーション技術政策作業部会副議長 三栖 氏
OECD イノベーション技術政策作業部会副議長 谷合 正明氏



セルバンテス 氏



岡倉 氏



グルダ 氏

共同作業への方法論 協業を奨励する体制

共同作業への方法論
協業を奨励する体制

中小企業の役割課題 ネットワーク構築が要

中小企業の役割課題
ネットワーク構築が要

中小企業に関する議論が
あつたが、大半の企業は中小
企業からスタートしている。